

二日の夜より社家元統系第二日より神樂
を渡神一氏子たち^立辨れて忌を振ると
弥夜より奥より二社あり花王権現虚空蔵
なりといふ右より虎倉二あり何れの神を祭
りや志をも信胞癰麻痺の神といふ花王
権現の左の方より新堂といふあり修験役所
者といふ虚空蔵ハ大湊坊も權一花王権現
ハ花王坊といふものも權も大湊坊の権を
笑に右虚空蔵の目録ハ大己貴の神像あり
中江紛失志より夕々を壬午鷄り忌出火の

刻形なり其驗ありて或醫家より出て平清
水より降る古來のことく安室一々れとも盜
人の強を忍れて今ハ大湊坊の宅中にあり
とそ槌より胡椒を持ち不焼記ありありを
代の化といひ見へとも大己貴ハ大穴持命花王
と稱さるハ少彦名命よて本朝醫術の祖
神されも温泉のも權神は多ありや花王
権現ハ花王坊も權もより四に大湊坊より
よりりてす權もより大己貴の社を虚空蔵
蔵といふや大湊虚空蔵といふハ佛家